



19195 ゃんごくわ!

||||| Dolls' Frontline Fanbook

新しいボディに換装した
M1919A4ちゃん

ボクも
これでもっと指揮官の
お役に立てるよ！

戦闘機能が向上し、
より反応が
人間らしくなった、と

くしゃみ機能とか
要るのかな？

それに……んっ！？

6. エアブリージングのセルフメンテナ

7. 性行為機能
人形との愛をよりいっそう深め合えま

8. しゃつくりしたよ
ひっくりしゃつくり機会

……何か手違いが
あつたみたいだし
替えてもらおう

まぐみに
ダメダメ

ええ～!?
せつかくだから
試してみようよ～!
勿体ないよ～!

この子は
本当に……













本当にまた
イッてる…
すごい感度だ

もちろん…

しつ
しきかんもつ
きもちいいつ？

普段聞いたこと
ないような声まで
出して…



ヤだよおつ
ボクばつかり
イカせちゃつ…













ああ……
私もそろそろ
いくよ……つ！

君のナ力に
射精すからね……ツ！



■世界観(独自解釈を含む)

ページが余ったので、ドールズフロントラインを知らない人向けに世界観の簡単な説明を記します。

あらすじ

2062年、戦争により荒廃しきった世界。

とある大企業によって産み落とされた暴走AIを封じ込めるため、民間軍事会社「グリフィン」の指揮官は武器を持ったアンドロイド「戦術人形」たちを率いて泥沼の戦いに身を投じる——

戦術人形

”見た目は人間の少女と何ら変わらないが、人間を遥かに超越した能力を持つ機械生命体。

それが戦術人形の本質だ。

彼女らは一見豊富な感情を持っているが、実際には金銭と物資さえあれば製造可能な安い命だ。”

(ドールズフロントライン 公式設定画集VOL.1 より)

本書では、戦術人形を人造の骨格とアクチュエータを多くの人工生体パーツで覆ったアンドロイドと想定しています。(実際、本編でも赤い人工血液のような描写が多く出てきます。)

そのため、シリコーンのような皮膚や筋肉ではなく、本物の人間のように柔らかい身体を持っていることでしょう。
えっちもできます(断定)。

◀武装した戦術人形。

人間を凌駕する力を持つが、人間を許可なく傷つけることは決してできない。

メンタルモデル

人形の記憶や情動を司るシステム。

戦術人形からは一見して人間と変わらない感情を見て取ることができます。

しかし、基本的に彼女らは人間の命令なしに長期間の自律行動を実行することができません。その意味において、人間と人形は決定的に異なる存在と言えるでしょう。



■あとがき

ページが余ったので(r y

ドールズフロントラインの世界観的にえっちな本はできるのか……？

と思っていたのですができました。

戦術人形はアンドロイドでありながらかなり人間臭いところもあり、

その身体も生体パーツのようなもので構成されているのではないかと想定しています。

たとえばその維持には人間と同じように食事が必要なようですが、

敢えて人間と同様のメンテナンスコストを必要とさせることで、

人口減少で落ち込んだ経済消費を刺激しようという目論見があるのでしょう。

つまり性行為も可能ということです(論理飛躍)。

下手をするとブラックマーケットには人工的な卵子を用いた

擬似妊娠パーツなんかも流通しているかもしれません。

もしさだドルフロ本を作るときがあったら、そういう裏事情妄想も描けたりするといいですね。

また、本書で描いたM1919A4という戦術人形は、性格のめんどくさい(婉曲表現)グリフィンの人形たちの中にあって妙にピュアな感性を保ったキャラクターが印象的です。

ずっと純粋なままでいてほしい……と言いたいところですが、

人形なので記憶の蓄積はあっても性格の鋳型は今後も永遠に変わらない可能性があると考えると少し切ないものがあるかもしれません。

指揮官には大事にしてもらいたいものです(?)

さて、自分としては次になにを作るかは全くノープランなのですが、
また何らかの作品でお目見えできることを願って、筆を置きたいと思います。

奥付

発行

拾八secの彼方(じゅっぱーせくのかなた)

発行者

五月猫(さつきねこ)

発行日

2019/12/29

印刷

株式会社 栄光

HP

<http://10parsec-no-kanata.cocolog-nifty.com/>

email

satsukikatze@gmail.com

twit

@satsuki_Katze

Pixiv

133419

この作品はゲーム『ドールズフロントライン』の二次創作物であり、
公式の二次創作物に対する見解に基づいて制作されております。
許可のない転載、再発行、翻訳を禁じます。
(No Reproduiction, Republication or Scanlation/Translation)

公式の運営に関わっていらっしゃる方々、
インスピレーションをくださった方々、
そしてお手に取ってくださったあなたに感謝を込めて。





拾いsecの彼方